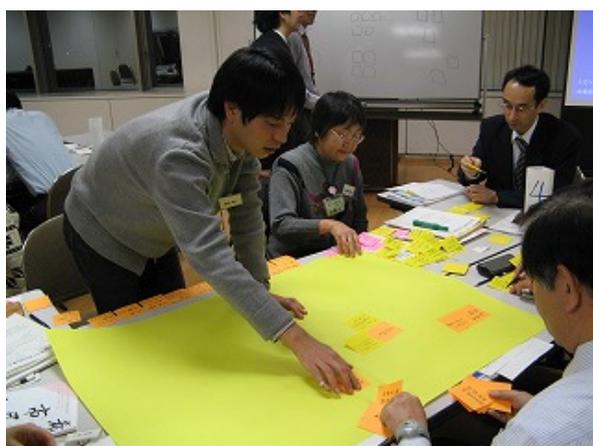


# 人がつながる武蔵野プレイス

## 武蔵野プレイス市民活動フロア 市民ワークショップ報告書

あるかも発見  
あるかも出会い



平成 22 年 11 月  
武蔵野プレイス市民活動フロア 市民ワークショップ

# 目 次

はじめに	1
武蔵野プレイス 3 階 市民活動フロア イメージ図	2
ワークショップの開催経緯	3
第 1 回ワークショップ「武蔵野プレイスと、市民活動フロアの概要説明」	6
第 2 回ワークショップ「市民活動フロアでしたいことを出し合おう」	10
第 3 回ワークショップ「情報」	11
第 4 回ワークショップ「交流・居場所」	18
第 5 回・6 回ワークショップ「設備・備品」	25
第 7 回ワークショップ「ルールは必要か？」	35
第 8 回～第 10 回ワークショップ「運営委員会の役割」「市民活動フロアキャッチフレーズ」	39
座談会	42
ワークショップ参加者名簿	44
ワークショップ実行準備会名簿	45

## はじめに

武蔵野プレイスは図書館機能、生涯学習支援機能、市民活動支援機能、青少年支援機能の4つを連携させながら運営することで、『広域的な知的創造拠点』『出会いと触発による新しい文化の拠点』となることをめざしている日本初の総合的複合施設です。

武蔵野市第4期長期計画・調整計画(2008年3月)の中でも、市民文化の創造、生涯学習、図書館サービス、都市文化の発信、武蔵境圏の都市基盤整備、市民協働、など6カ所にわたって言及されていて、今後の市政発展の鍵を握る施設の一つとして期待されています。

財政逼迫の折、こうした期待の中で開設される武蔵野プレイスが、武蔵野市民のエンパワーメントに役立て、市民の学ぶ権利を保障し支える施設、市民の自主的な活動や自治活動を励まし支える施設、若い世代の自己実現を見守り支える施設になるためには、利用者である市民自ら足を運び、話し合い、知恵を絞り、参画していく活動が欠かせません。武蔵野プレイスがどのような施設になるかどうかは、大部分、市民の力にかかっています。

関心を持つ市民及び市民活動団体の間で、2009年6月あたりから、武蔵野プレイスを考える勉強会的な集まりが自主的に開催されてきました。そして2009年10月、いよいよ、武蔵野プレイス開設準備室が、市民ワークショップの連続開催を呼びかけてくれました。

市民ワークショップが進行し、他の施設見学が行われる中で、ワークショップ参加者から、ワークショップそのものを市民参画によって活性化するため、以下の8点の提案が出されました。

- 1 参加者の人数制限は好ましくない。
- 2 参加者情報を共有したい。
- 3 ワークショップの名前にふさわしく、参加者の自由な発言の場を確保してほしい。
- 4 ワークショップの記録を参加者と共有し、ニュースとして発信してほしい。
- 5 ワークショップ世話人を募り、開設準備室と市民有志のパートナーシップ事業としてワークショップを運営することが望ましい。
- 6 ワークショップでコンセンサスがとれた事柄は、原則として実現するという姿勢を打ち出してほしい。
- 7 図書館機能、生涯学習機能、青少年分野等に関連して、ワークショップで取り上げるテーマも含めて、参加者と検討する場を設けてほしい。
- 8 出席する市職員もワークショップに参加してほしい。

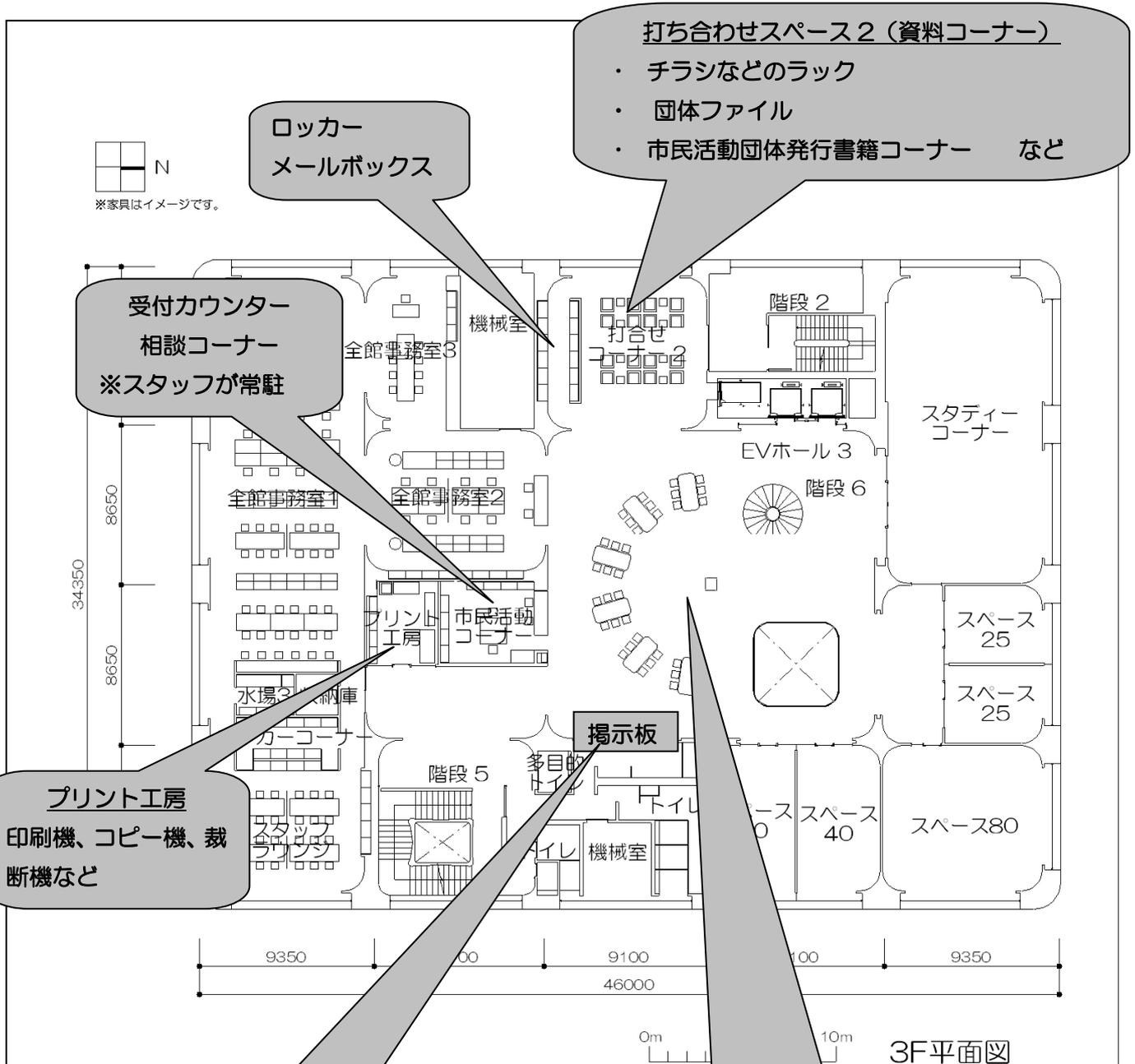
開設準備室は上記の提案趣旨と内容のほとんどを受け入れてくれ、相談のうえ「市民ワークショップ実行準備会」を参加者有志で組織し、開設準備室と相談しながら、ワークショップの企画・運営を進めることになりました。「市民ワークショップ実行準備会」は2010年1月29日に第1回の集まりを持ち、そこで、実行準備会として瓦版的ニュースを発行することになりました。

以上の経過のように、市民ワークショップは開設準備室と参加する市民によるパートナーシップ事業として進められてきました。ワークショップ本体は計10回、実行準備会は計9回開催され、ニュースは8回発行されました。このようにワークショップに注ぎこまれた市民のエネルギーと話し合いの内容が、武蔵野プレイスを市民に役立つ施設にする支えになると信じています。

本報告書も実行準備会が構成を考え、実行準備会メンバーが執筆を分担してまとめたものです。ワークショップの時系列に、ワークショップの成果を確認していく形で編集しました。本報告書に込められた市民の思いを活かした管理運営と市民事業が行われるよう願うとともに、我々も一緒になって管理運営と市民事業に参画する覚悟でおりますことを書き添えておきます。

(栗田充治)

武蔵野プレイス3階 市民活動フロア イメージ図



受付カウンター  
相談コーナー  
※スタッフが常駐

ロッカー  
メールボックス

打ち合わせスペース2 (資料コーナー)

- ・ チラシなどのラック
- ・ 団体ファイル
- ・ 市民活動団体発行書籍コーナー など

プリント工房  
印刷機、コピー機、裁断機など

掲示板

掲示板  
市民活動団体等から寄せられた、団体紹介やイベント告知のチラシやポスター、ボランティアやインターン募集などの情報を掲示することが想定されています。

打ち合わせスペース1  
打ち合わせなどに活用できる机・椅子。資料コーナーの一部をこちらに点在させることも考えられます。

ワークショップの開催経緯

月日	項目	参加者	場所	内容
H21 10.29	第1回 ワークショップ	市民 38 名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～2	1. 武蔵野プレイス 概要説明 2. プレイス市民活動フロア 概要説明 3. ワークショップの進め方と日程について 4. 導入アクティビティ 以下のテーマについて、小グループで話し合いを実施。 ① あなたの感じる市民活動の魅力とは？ ② ワークショップへの参加動機
H21 11.23	視察	市民 3 名	右欄参照	さいたま市市民活動サポートセンター視察
H21 11.27	視察	市民 17 名	右欄参照	市民活動センターたちかわ視察
H21 12.15	第2回 ワークショップ	市民 27 名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 市民活動関連施設視察(さいたま・立川) ふりかえり 2. アクティビティ(ブレインストーミング)「市民活動フロアで したいことを出し合おう」
H22 1.13	視察	市民 11 名	右欄参照	調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター視察
H22 1.29	実行準備会 ①	市民 16 名	武蔵野公会 堂第3会議室	1. 会の名称について 「ワークショップ準備の会」という仮称を掲げていたが、今後 「実行準備会」を正式名称として使っていくこととなった。 2. 実行準備会の役割と運営について 3. 第2回ワークショップ 成果の整理 ブレインストーミングによって出された多様な意見を、6 つのカテゴリーに分類。 カテゴリーは「情報」「交流・居場所」「設備・備品」「相談」 「ミーティング」「市関連」の6つが挙げられた。
H22 2.23	第3回ワーク ショップ	市民 27 名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 市民活動関連施設視察(調布)ふりかえり 2. 市民活動フロア検討について その①「情報」
H22 4.5	ニューズレタ ー第1号発行	—	—	【記事】 ・「市民活動フロアのワークショップがスタート」 ・「第3回ワークショップの報告」 ・「これまでのワークショップについて」(別紙付録) ・「市民活動施設の視察も行いました」
H22 4.7	実行準備会 ②	市民 12 名	武蔵野公会 堂第1会議室	1. 第4回ワークショップの検討内容について 2. 「市民ワークショップだより」発行について 3. 「団体の施設・設備利用に関するアンケート」の 実施について

H22 4.15	第4回ワークショップ	市民24名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 「ワークショップ実行準備会」実施報告 2. 市民活動フロア検討について その②「交流・居場所」
H22 4.15 ～5.31	「武蔵野プレイス市民活動フロア団体の施設・設備利用に関するアンケート」実施	—	—	目的: 市民活動団体等の活動状況を把握し、ワークショップでの検討の参考にするため。 対象: 市民活動団体等 配布部数: 430部(市内公共施設に設置、ワークショップ参加者に配布、市ホームページ掲載) 回答数: 39(FAX、Eメール、郵送) 回収率: 9.06%
H22 5.12	実行準備会 ③	市民12名	武蔵野公会堂第3会議室	1. 「市民ワークショップだより」発行について 2. 「団体の施設・設備利用に関するアンケート」実施および、実施期間の延長についての報告 3. 第5回ワークショップの内容の検討について
H22 5.13	ニューズレター 第2号発行	—	—	【記事】 ・「第4回 市民ワークショップの様子」
H22 5.20	第5回ワークショップ	市民23名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 市民活動フロアのコセプトの確認 2. 市民活動フロア検討 その③「設備・備品」 ・プレイスの設備に関するFAQ ・グループワーク
H22 6.8	実行準備会 ④	—	かたらいの道 市民スペース	1. 市民活動フロア設備・備品案の検討 2. 第6回ワークショップの内容の検討について
H22 6.17	ニューズレター 第3号発行	—	—	【記事】 ・「第5回 市民ワークショップの様子」
H22 6.17	第6回ワークショップ	市民21名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1・市民活動フロア検討 その④「設備・備品 -後編-」 設備・備品案の中から、実行準備会において特に論議が必要と思われる以下の3点について検討。 (1) プリント工房の導入機材について (2) フリースペースの空間づくりについて (3) 情報ラウンジに充実させる設備の優先順位をつける
H22 6.30	実行準備会 ⑤	市民10名	武蔵野 スイングビル スカイルーム1	・第7回ワークショップの内容の検討について
H22 7.15	ニューズレター 第4号発行	—	—	【記事】 ・「第6回市民ワークショップの様子」
	第7回ワークショップ	市民21名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	・市民活動フロアの利用について (1) 「市民活動フロアを気持ちよく利用するためのルールとは？」 (2) ディベート「市民活動フロアの利用について、何らかの制限は必要である」

H22 7.28	実行準備会 ⑥	市民10名	武蔵野 スイングビル スカイルーム1	・ワークショップのまとめ(報告書)について 実行準備会が中心となって編集を行う。章立ての案が示され、編集長および各章の執筆担当者が決定した。
H22 8.4	実行準備会 ⑦	市民12名	総合体育館 視聴覚室	・第8回ワークショップの内容について
H22 8.19	ニューズレター 第5号発行	—	—	【記事】 ・「第7回市民ワークショップの様子」
	第8回ワークショップ	市民32名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 運営委員会と運営指針について 2. ワorkshopからのメッセージ(キャッチフレーズづくり)
H22 9.9	ニューズレター 第6号	—	—	【記事】 「第8回市民ワークショップの様子」
H22 9.16	実行準備会 ⑦	市民9名	総合体育館 視聴覚室	1. 第9回ワークショップの内容について 2. ワorkshopのまとめ(報告書)の内容検討
H22 9.22	第9回ワークショップ	市民29名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 「ワークショップのまとめ(報告書)」の検討 2. キャッチフレーズづくり(後半)
H22 10.1	実行準備会 ⑧	市民11名	武蔵野 スイングビル スカイルーム3	ワークショップのまとめ(報告書)の原稿チェック。
H22 10.5	第10回ワークショップ	市民29名	武蔵野 スイングビル スカイルーム 1～3	1. 「ワークショップのまとめ(報告書)」の検討 2. キャッチフレーズづくり 3. 感想交流
H22 10.20	ニューズレター 第7号	—	—	【記事】 「第9回市民ワークショップの様子」
H22 10.12	ワークショップ 報告書 座談会	市民10名	かたらいの道 市民スペース 第1会議室	座談会を実施。
H22 10.25	実行準備会 ⑨	市民10名	かたらいの道 市民スペース 第1会議室	報告書の原稿の最終確認。
H22 11月	ニューズレター 第8号	—	—	【記事】 「第10回市民ワークショップの様子」

## 第1回ワークショップ「武蔵野プレイスと市民活動フロアの概要説明」

日時：平成 21 年 10 月 29 日（木） 18 時半～20 時半 場所：武蔵野スイングビル スカイルーム

武蔵野プレイス建設に反対している市民やどこに出来るのかを知らない市民もまだいるという状況でワークショップが始まりました。第 1 回の参加者は 38 名で、他市区から参加している方もいます。

初回ということで、前半は武蔵野プレイスと市民活動フロアの概要、ワークショップの進め方と日程について、市職員から丁寧な説明が行なわれました。後半は参加者同士の自己紹介も兼ねて、市民活動の魅力とワークショップの参加動機をグループに分かれて話し合いました。

前半に行なわれた説明について、参加者から多くの質問や提案が出ました。例えば、ワークショップ参加人数を制限しない、ワークショップの内容と運営方法は市民参加で決めること、ワークショップに市職員も参加するなどです。参加者から出された提案のほとんどが、2 回目以降のワークショップに反映されました。具体的なこととして、「市民ワークショップ実行準備会」がワークショップ参加者有志で組織され、各ワークショップのニュースレター発行と次回のワークショップの準備を職員と一緒に話し合いながら決めました。それから、この報告書づくりも実行準備会参加者の意見で実現したのです。

後半はいよいよワークショップのスタートです。テーブルごとにまずは、お互いに知り合うということも意識しつつ意見を出し合いました。市民活動の魅力で一番多かった意見は、人との出会いや地域の人たちとのつながりを持つということでした。一方、市民活動フロアワークショップの参加動機では様々な意見が出され、期待の大きさと共に「4 つの機能を併せ持つ複合施設」をイメージすることが参加者に難しいのだと感じました。第 1 回から第 3 回のワークショップの合間に、他市の市民活動施設 3 ヶ所の視察が予定されています。実際に活動をしている場所を見ることで、具体的なイメージも少しずつ出来ていくでしょう。

（酒井陽子）



## 市民活動関連施設視察の様子

### ○ さいたま市市民活動サポートセンター

視察日：平成 21 年 11 月 23 日（祝） 参加人数：3 名

所在地：さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 9F

運営団体：NPO 法人さいたま NPO センターと、さいたま市の協働管理運営



### ○ 市民活動センターたちかわ

視察日：平成 21 年 11 月 27 日（金） 参加人数：17 名

所在地：立川市富士見町 2-36-47 立川市総合福祉センター2 階

運営団体：社会福祉法人立川市社会福祉協議会



### ○ 調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター

視察日：平成 22 年 1 月 13 日（水） 参加人数：13 名

所在地：調布市国領町 2-5-15 調布市市民プラザあくろす 2 階

運営団体：社会福祉法人調布市社会福祉協議会



# 第1回市民活動ワークショップ 導入アクティビティより

## ☆ 市民活動ワークショップに参加したのは？

私たちのグループ活動として、スペース作りに参加したい

録音室の使用方法を知りたかった

印刷機能の利用について

武蔵野市の市民活動とは？

プレイスをどう使っていくのか、関心がある

市民参加をすすめたい

市民活動をつないでいくことの大切さ、醍醐味をたくさんの人に知って欲しいので

(プレイス予定地の)近くで、関心があるから

図書館機能がどう生かされるか？

青少年育成を中心とした、良い町を作りたいと思ったから

何か利用していけるか？と思って

プレイスの場所がどのように使われるのか？

プレイスを武蔵野市の誇りとなりうる魅力ある施設にしたい

桜堤 境南町に50年近く住んでいて、子どもたちも生まれ育っている。武蔵野市に当然愛着あり。

プレイスと既存の施設との相違

青少年の活動について、プレイスでどのように出来るか関心

青少年ではない、高齢者弦楽合奏団の、サウンドスタジオ等の B2 設備の定期的な利用の可能性

・(市民)協働サロンとの兼ね合いは？  
・合体するのか？両方なのか？

# ☆ 市民活動の魅力とは？ (なぜ市民活動に関わっているのか？)

思いの共有  
自己達成

いろいろな形  
で参加できる  
ことかな？

地域に密に関  
わっていると  
いう実感、協  
力する喜び

人と出会い  
地域を知る

視覚障害者の  
方の手助け

本が好き

人とのコミュ  
ニケーション

自分達が住みよ  
い社会が大切だ  
から

ごみ減量～生ごみ堆肥  
化から活動を始め、尊敬  
できる仲間、先輩との出  
会いがあったのびのび  
活動できている。楽し  
い！に尽きます。

地域コミュニテ  
ィ情報のネット  
ワーク活用

地域社会との関  
連、つながり

高齢化社会での  
助け合い

- ・ 人と出会う
- ・ やれることがある
- ・ 新しいことを知る  
など

地域の方々とつ  
ながりがもてる

自分の生活環境をより  
良くする為に、行政や他  
人に依存しすぎるのは  
リスクが高いと思われるため。

- ・ 夢の実現
- ・ 市民参加の手段
- ・ ネットワーク形成

地元での接点が、子ど  
もの卒業と共になく  
なった様に感じた為

たまたまやろうと  
思ったことがそう  
いう形態の活動に  
なったので…

## 第2回ワークショップ「市民活動フロアでしたいことを出し合おう」

日時：平成21年12月15日（火）18時半～20時半 場所：武蔵野スイングビル10Fスカイルーム

武蔵野プレイス3階の市民活動フロアは、市民活動支援という機能を有しています。けれど、実際には市民活動に携っている人々だけでなく、これから始めようと考えている人、活動とは関係なくフラッと来る人など、様々な人たちが利用するでしょう。

第2回ワークショップでは、フロアの支援機能とは何かということではなく、可能性について自由に話し合いました。各グループで、実際にしてみたいことやこうあってほしいというようなことを各自がポストイットに書き出し、模造紙に張り出しました。設備に関する具体的な内容から寛げる雰囲気というような抽象的な表現まで、多様なアイデアが網羅されました。

全体で話し合いをした結果、市民活動フロアは「気軽に集える場」「緩やかな雰囲気でありながら、市民活動に必要な支援が整備されている場」ということで一致しました。

(酒井陽子)

居場所	設備	相談	情報	ミーティング	市関連
仲間集め					
集う	設備	総合案内	情報	活動	管理とあり方
くつろぐ	環境 (environment)	支援&つなぐ	図書館との連携	学ぶ	スタッフ (司書含む)
人が集まる (拠点)	施設	相談	広報	福祉	勉強会
交流 (世代間、地域間)	印刷、コピー メールボックス ロッカー		情報交換		まちづくり
子どもの利用	トイレ、スペース 駐輪、駐車		ニュース		まちの活性化
	IT、AV 機器				
	道具				
	道具、設備				

### 第3回ワークショップ「情報」

日時：平成22年2月23日（火） 18時半～20時半 場所：武蔵野スイングビル10F スカイルーム

第3回のワークショップで取り上げたのは「情報」についてです。

市民活動にとって情報とは、自分たちの活動を広めることです。活動希望者や活動を立ち上げようとしている人にとっては、情報を集めることで、個人と団体がつながったり、活動の幅が更に広がることとなります。

各グループで多かったのは、プレイス内にある図書館や市内のコミュニティセンターや市民会館、他市・区の市民活動センターとの「連携」が必要という意見でした。この意見の背景には各機関が個々に存在しているだけで、つながりがなく、とまっていることの表れだと感じています。また、「困った時にどこへ相談したらいいのかわからない」という声もありました。市民活動は生活に直結している事柄も多いため、相談役やコーディネーターが必要、というグループも多かったです。

“情報についての取り組みをどのような方法で行うか”という話では、コンピューターを使っの市民活動団体のデータベース化、動画を使った活動紹介といった、デジタルなツールを使った取り組みも挙がりましたが、一方で掲示板を使っの活動紹介や、人と人との交流を通して活動を伝えていく、といった、その場に行かないと得られないもの、「デジタルではなくアナログ的な情報伝達も大切だよね」という意見がありました。

武蔵野プレイスは「ひと・まち・情報 創造館」と謳っていますが、市民活動フロアでも情報を取得することが困難な高齢者や、障害のある人に対するデジタル・アナログの両面でのフォローが必要なのではないか？という意見がありました。

（天野日佐恵）



2010.02.23 実施  
第3回市民活動フロアワークショップ

1班 関秀明、田村晃一、石井雄三、中村靖子、天野日佐恵、今井隆文

取り組み	方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザー同士のつながり</li> <li>・ 困ったとき必要な情報 (障がいなどに関する得られにくい情報)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人でもチラシが置ける</li> <li>・ HP への情報掲載</li> <li>・ 市の後援なくてもいい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライバシーを確保した相談をしたい</li> <li>・ ここでしか得られない</li> </ul>	<p>→それに応じた設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報を仕分けできるスタッフ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あたたかい情報の伝え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットからではなく、人とのつながり (正しくて新しい情報であること)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この指とまれ</li> <li>・ 市民活動への参加</li> <li>・ 一人で抱え込んでいる人へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動団体・グループ集団相談会</li> <li>・ 居場所(用がない人もくる)</li> <li>・ 楽しさがないと来ない</li> <li>・ 若者の取り込み</li> </ul>

2班 安藤栄美、栗原毅、田中純江、長田秀一、向田恒彦、武田明恵

取り組み	方法
<p>&lt;情報の収集&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化を創造する</li> <li>・ 文化を発信する</li> </ul> <p>&lt;情報の蓄積&gt;</p> <p>&lt;情報の利用・発信&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館とつながりを持たせる</li> <li>・ 生涯学習、青少年フロアともつながりを持たせる</li> <li>・ ブラウジング</li> <li>・ 学習の場とする</li> <li>・ 知識を創造する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各フロアと定期的に全体会議を行う。</li> <li>・ 活動団体の洗い出しをする</li> <li>・ 各団体の活動報告を集める</li> <li>・ プレイスの核となるビジョンを共有する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベース化が必要である</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子掲示板で他のフロアでも市民活動フロアのこと がわかるようにする</li> <li>・ 図書館にも市民活動情報コーナーをつくる</li> <li>・ 1階展示スペースでイベントの告知をする</li> <li>・ 個人団体の持つ知識、スキルの提供をする</li> <li>・ 団体財産(本・情報)の公開の場とする</li> <li>・ 展示場所を設ける</li> <li>・ チラシを置くスペースを設ける</li> <li>・ コンシェルジェを活躍させる</li> <li>・ 街の中の活動につなげる</li> <li>・ 人をつなげる</li> <li>・ カフェをつくり、活動の紹介、人をつなぐ</li> <li>・ 市民団体の持つ資料を必要として人に提供する</li> <li>・ 個人の知識、経験を皆の財産として生かす</li> <li>・ 本だけでなく人から学ぶ</li> </ul>

3班 山口雅也、酒井陽子、蓬田恭子、ほか1名

取り組み	方法
<p>&lt;収集&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (各種)講座の情報が得られる</li> <li>・ 市内 NPO 団体の動向を知りたい</li> <li>・ 市(役所)のもっている情報を提供してほしい</li> <li>・ 子どもと大人の情報がほしい</li> <li>・ 大学がもっている専門情報</li> <li>・ 商店街やまちの情報</li> <li>・ 他市他県に同じような団体がいるか</li> <li>・ 同じような活動をしている団体を知りたい</li> <li>・ 市内の人材を紹介してほしい</li> <li>・ ホームページの活動</li> <li>・ 助成金を出している団体情報</li> <li>・ 助成金をもらうためのプレゼンの方法や成功の秘訣</li> <li>・ 活動資金をどうやって得ているのか?</li> </ul> <p>&lt;発信&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体を紹介できるものが置ける</li> <li>・ 公開講座など、一般の人も対象にしたイベントの広報</li> <li>・ プレイスで体操の場、仲間がほしい、発信する</li> <li>・ 団体の活動に参加してくれる人を募集すること</li> <li>・ 教室を開催するのに、プレイスの力が必要です</li> <li>・ スポーツの情報の公開(アーチェリーの活動)</li> <li>・ 市以外にも団体の情報をPRしたい</li> </ul> <p>&lt;集積してほしい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体運営についてのコツのようなものが各団体から蓄積されるといい</li> <li>・ 情報集積ヒト、活動</li> <li>・ 市民活動コアの利用者、利用方法の情報集積</li> </ul> <p>&lt;交流したい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者同士が交流することで得られる生の情報がほしい</li> <li>・ 遠隔地と(テレビ電話のような)PC(SKYPEのような)を使った情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の最新情報を掲示する</li> <li>・ カテゴリー別に団体のファイルを設置して自由に見る</li> <li>・ インターネットで常時見ることができる</li> <li>・ インターネットを使った情報習得の方法を教えること</li> <li>・ 会議にも使える PC</li> <li>・ 障がいのある人も情報がとれるための機器</li> <li>・ 市報とホームページはプレイスで</li> <li>・ 方法は市報でお願いします</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日替わりで専門家が居る</li> <li>・ リーフレット、チラシなどの印刷物</li> <li>・ 印刷機、コピー機、製本機</li> <li>・ 印刷物を置けるラック</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画で情報を発信する</li> <li>・ 掲示板</li> <li>・ パネルに団体のチラシを自由に展示できる</li> <li>・ 活動内容は用紙で発信できる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古くなっている情報を適宜更新できる仕組み</li> <li>・ 入口のカウントを PC で利用者の意見を聞く会</li> <li>・ 活動費用には民間会社の補助金が必要 それにはプレイスで</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体間の交流会</li> <li>・ キーワード別(ときにはミスマッチ)の交流会を行う</li> <li>・ メール交換が必要</li> <li>・ プレイスでフリーマーケットを行う</li> <li>・ 各自の本を持ち寄って交換する</li> </ul>

2010.02.23 実施  
第3回市民活動フロアワークショップ

4班 今村幸雄、西園寺美希子、高橋勇、三田善雄、木谷真貴

取り組み	方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きなもの(目的)</li> <li>・ このまちをどうしたいのか?</li> <li>・ 子どもたちにどんな環境を残すのか</li> <li>・ むさしのプレイスをどういうものにしたいのか?</li> <li>・ 前に進む機能</li> <li>・ ありきたりの施設にしない</li> <li>・ ありきたりの施設とは?(コミセン等との違い)</li> <li>・ 施設自体はありきたりでもいいけど、人や課題解決への追求姿勢は大事</li> <li>・ 相談役・コーディネーター</li> <li>・ ニーズに沿った伝達</li> <li>・ ニーズに合った使い方のできる施設</li> <li>・ そこに行けば伝えられる</li> <li>・ アナログなつぶやき・ブログ</li> <li>・ 自由に使えたらいいね!</li> <li>・ コミセンの価値・目的がわかりづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手持本の持ち込み&amp;コメント交換</li> <li>・ ここにすれば、街の使い方がわかる。</li> <li>・ まちの情報マップ(情報がたまって行く/都市伝説なども・・・?)</li> <li>・ 街のインフラ(ソフトもハードも)を使いこなすために・・・</li> <li>・ みんなの便利帳の市民活動バージョンのようなもの(問題を意識→共有→共感→活動→解決の循環をつくっていくための便利帳的なフロア)</li> <li>・ 市民への手紙(市長への手紙ではなくて)</li> <li>・ この指とまれ、意見の表明コーナー</li> <li>・ アナログなネットワークをつくれる環境</li> </ul>

5班 栗田充治、高橋繁夫、小林町子、木村孝

**取り組み**

**【情報収集】**

- \* 各種情報源の整備
- \* 情報交換しやすいしくみづくり
- \* 情報伝達機能の整備
- \* 「市民発」の情報も

**【他組織・機関との連携】**

- \* VCM
- \* コミセン
- \* 福祉センター
- \* むさしのFM
- \* 市民会館
- \* 市政資料とリンク

**【情報発信】**

- \* 市民活動団体同士の情報交換の場づくり
- \* 市民活動情報の発信
- \* 市民活動情報を他の図書館へつなぐ

**【青少年・若者からの発信】**

- \* 青少年の学習成果を情報として取り込む

**【まちづくり】**

- \* まちづくりと商店街活性化

**【図書館機能とのリンク】**

**方法**

**【情報収集】**

情報の整理・分類・データベース化  
どこが責任を持つ？

自分史づくりを手伝う

**【他組織・機関との連携】**

VCMの支所機能を持たせる  
団体情報・チラシ類を各機関に置いてもらう  
むさしのFMをもっと聞く  
NPO関連の文献・白書・報告書類をそろえる  
市政資料のデータベース化

**【情報発信】**

団体の報告・チラシなど市民活動情報を網羅的に収集  
収集資料のデジタル化  
チラシ置き場をつくる(見やすい、とりやすい)

**【青少年・若者からの発信】**

学校のイベント情報  
学校へ呼びかける(部活・サークルなどへも)  
教員の教材作成をサポート

**【まちづくり】**

商店街との連携(特売情報なども)

**【図書館機能とのリンク】**

知りたい・調べたい総合案内  
ギャラリーと図書部分の活用  
レファランスの充実  
情報整理への協力・助言  
司書の配置と一緒に研修  
司書と3Fスタッフとの連絡体制を密に(各フロア間の連携)

6班 高石好子、蓬田荘一郎、畑中良夫、ほか1名

取り組み	方法
<p>F P (ファイナンシャルプランナー)</p> <p>関連事項</p> <p>成年後見人制度の理解</p> <p>遺言の書き方の要点</p> <p>認知症の理解と対応</p> <p>相続問題の理解と解決策</p> <p>設計の立て方</p> <p>リスク関連の問題</p> <p>認知症の理解と予防・対応</p> <p>オレオレ詐欺からの防衛</p> <p>社会からの閉塞感の解決策</p> <p>教育問題</p> <p>公園デビュー出来ない若い母親の意識改革</p> <p>不登校児童の理解と援助策</p> <p>放課後宿題等を見る (塾のかわり)</p> <p>就職活動の援助</p> <p>社会性の育成</p> <p>居場所がない青少年の活動支援</p> <p>中高年の共通趣味参画の支援 (おやじバンド等)</p> <p>生活情報の提供</p> <p>若者に共通活動拠点を提供</p> <p>食育の向上</p> <p>情報交換の場を提供</p>	<p>講演会・相談会の開催</p> <p>ワークショップの開催</p> <p>相談コーナーの設置</p> <p>サークル募集コーナーの設置</p> <p>情報提供ブースの設置パソコン利用も可</p> <p>読書カードの作成とアップデート</p> <p>新刊の紹介と図書館との連携</p> <p>同好会結成の手助け</p> <p>直近の話題をテーマに討論会を開催</p> <p>掲示板の設定</p> <p>図書・文献等の検索手段の設定</p> <p>茶話会・交流会の開催</p> <p>市報にプレイス活動欄を設定</p> <p>居場所の提供</p> <p>公開投書箱の設置</p> <p>すべての活動に年齢的制限を排除</p>

## 第4回ワークショップ「交流・居場所」

日時:平成 22 年 4 月 15 日(木) 18 時半～20 時半 場所:武蔵野スイングビル 10F スカイルーム

市民活動フロアが、市民交流、意見交換の場として機能するために、どんなことができるのか、どうしたら良いのか？ というテーマでキーワードがたくさん出されました。

「世代・団体間の交流ができる場所にしたい。」「人が集まりつながる場所にしたい。」そのためにどうしたいか、みんなの居場所にするためどうしたらよいか、武蔵野市のこの場所だから出来ること、この場所の歴史や住んでいる人との協力の中で出来ることも多いはずです。そのために、情報の充実、活動のつながりに必要な人と物、図書館との連携についてなど、考えられることすべてをポストイットに各自で書き、参加者全員で共に考えました。さまざまな立場の多くの市民の考えが集まりました。

頭の中で描く構想から、設備や備品など建物の中に入れてほしい物、活動のために欲しい物・事について思いの丈を書き連ねました。そしてお互いの活動を知って交流へ発展させるための工夫を考えると、「机のレイアウトや仕切りは？」「飲食はどうするのか？」などへ展開していきました。

「活動をつなげる役割」を果たしてくれるコーディネーターは、幅広い視野や経験を持った第三者が入ることで促進されるという意見は、とても重要だと思いました。コーディネーターとともに、3 階フロアの運営団体や市民による運営委員会の在り方も重要になってきます。

第 9 回ワークショップでは、さらに「交流・居場所」についての議論を深め、活動団体同士で、市民活動を行うための託児等の協力が出来るようになっていくのが望ましいという意見が出されました。その協力体制のため「活動をつなげる役割」を運営団体も活発に行うものでありたいと思います。

(多田てい子)



1班 高橋勇、千種豊、高石好子、天野日佐恵、木谷真貴

<p>プレイスでどんなことができるのか どんなことがしたいのか</p>	<p>どうしたらいいのか</p>
<p><b>交流の目的</b>                      交流には目的がある                      異業種による交流                      ビジネスが目的？                      子どもを核にした？                      レベルの高いものでなくてもふらっと寄れる                      ふらっと立ち寄ってみるというのもアリ                      何も目的がない…ではなく、はっきりしていないだけ                      コミセンと何が違う                      経験の交流                      問題解決のための交流                      時間・空間を越えた交流                      人間としての生き方の交流                      情報を取るため？                      何の情報？                      魅力ある情報「商品」を用意する・提示する                      みんなのことはみんなで解決しよう                      つなぎあわせる役割が大切                      プレイスでなければならない交流とは？</p> <p><b>交流から何が得られるのか</b>                      活動家に出会いたい。                      何の活動家？市民活動のデパート！！                      デパート 買うために来る？                      デパート 見るだけ？ウィンドウショッピング                      問題解決のため？                      コミセンよりも広い範囲から人が集まる</p> <p><b>なぜプレイス</b>                      プレイスに何を求める？                      目的がなくても来てもいい                      プレイスでしかできないもの・会えない人が、いる？ある？                      他にも場所はあるが、何のためにプレイスに来る？</p>	<p>情報を沢山集めるには？                      魅力ある情報を集めるには？                      怪しい情報も集めるには？                      プレイスに求められる信用度は？                      情報の検証は？                      情報の仕入れ                      情報の提供（売り！）                      利用する人の見極め                      信用度？選択してください                      情報管理 必要？不要？                      まちがった情報を出す責任は？                      怪しい情報でも置いてほしい                      自己責任だが、その情報が正しいか、よくないか、確認できる機能を持つ                      見せ方展示</p> <div data-bbox="949 1400 1508 1937" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>手にとって実物を確かめられる店舗型を「ヨドバシカメラ」、インターネットやテレビ画面の向こう側でのネットショップ型を「ジャパネットタカタ」と表現。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">             ヨドバシカメラ (実物)         </div> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">             ← V.S →         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">             ジャパネット タカタ (ネット)         </div> </div>

2班 金井芳子、村上京子、山口雅也、多田てい子、ほか1名

<p>どんなことができるか どんなことをしたらよいか</p>	<p>そのためにどうしたらよいか どうできるか</p>
<p><u>☆人が集まる場所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☉ 人が集まってくることができる</li> <li>☉ 地域の集会</li> <li>☉ 必ず人がいる</li> </ul> <p><u>☆多世代交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☉ 異年齢が集える場所</li> <li>☉ 子供の遊び場</li> </ul> <p><u>☆活動のお知らせをしたい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☉ 活動の公開</li> <li>☉ 催し物のお知らせ掲示</li> <li>☉ 他の団体の活動が良く分かる</li> <li>☉ 「市民に知らせたいコーナー」を作る</li> </ul> <p><u>☆プレイスの特色・情報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☉ 図書館との連携</li> <li>☉ 図書館の本の内容</li> <li>☉ わからないことを教えてもらえる</li> <li>☉ 何ができるかを考える場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人材バンク登録</li> <li>■ 打ち合わせコーナーでのパネル展示</li> <li>■ 交流会・活動発表会</li> <li>■ チラシ・ポスター・パンフレットコーナー設置</li> <li>■ 図書館で特集しているものを展示</li> <li>■ 打ち合わせコーナーは人数によってしきり可能</li> <li>■ 予定表を置く</li> </ul>

3班 吉野守、木村孝、石井雄三、西園寺美希子、今村幸雄、田村晃一

プレイスでどんなことができるか？	そのためにどうしたらよいか？
基本コンセプト:「楽しい」こと(楽しくなければ人は集まらない！) (目的のある人は働きかけなくてもある程度集まってくる)	
○団体間交流 ・団体同士の交流	・交流会の開催 ・実行委員会を作る ・団体活動のための会議室が必要 ・コーディネーターの設置
○イベント・おまつり ・市民団体が主催するイベント ・年1回のおまつり ・武蔵境ピクニック・駅前協など既存のイベント・組織を発展させての実施	・「市民が主役」という雰囲気づくり ・イベント実行委員会を作る ・フリーマーケットの開催 ・コンサートの開催
○個人の交流 ・市民が市民団体とつながる場所 ・自由来所のたまり場 ・ふらりと来た人も仲間に入れる仕掛け	・交流コーディネーターの設置 ・目的がない人も来られる居場所 ・お茶・軽食が取れる喫茶コーナーの設置 ・夜にはお酒も飲めるコーナーの設置
○情報を得る ・団体の活動情報 ・自分のしたいことが探せる	・団体紹介コーナーの設置 ・掲示板設置 ・団体情報を収集する ・相談コーナーの設置
○情報を発信する ・したいことの呼びかけができる ・やりたいことが表明できる	・「このゆびとまれ！」コーナーの設置 ・「何でもノート」コーナーの設置 ・市民相談コーナーの設置
○世代間交流 ・世代の離れた人との交流 ・大学サークルの発表の場 ・異世代の人たちによる実行委員会イベント	・青少年フロアとの連携 ・大学生サークル専用コーナーの設置 ・大学生サークルのパフォーマンスの場
○国際交流 ・武蔵境の特色を出す(外国人が多い) ・国際交流まつりを発展させる	・インターナショナルコーナーの設置 ・留学生と一般市民の交流会

4班 栗原毅、三田善雄、石村美枝、ほか2名

どんなことができるか どんなことをしたらよいか	そのためにどうしたらよいか どうできるか
<p><b>【交流】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><u>人とのつながり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多世代、同世代、市民同士、お父さん、青少年(居場所)、仕事関係以外の人</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><u>テーマ性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土、国際</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><u>部門間・機関間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレイス内(他部門、他機能、他フロア)、フロア⇔外、周辺の多様な機関・施設</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>情報</u></p> </div>	
<p>市民活動のダイナミズム(集う⇒関心をもつ⇒活動する)</p>	
<p><b>【サポート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動の立ち上げ</li> <li>・ 交流を展開することをサポート</li> </ul>	<p><b>【サポート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少し市民活動の先を行くサポーターがいる空間</li> <li>・ サポーターの育成</li> <li>・ 専門的な相談(含む行政情報)</li> <li>・ 情報提供(人や資料)</li> </ul>
<p><b>【意図的なきっかけづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心を喚起する</li> <li>・ 交流のきっかけをつくる</li> <li>・ こういふ話し合い(今日のような場)を実現する</li> </ul>	<p><b>【意図的なきっかけづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来フロア者に声をかける</li> <li>・ テーマがあり交流を促すイベント、展示、発表</li> <li>・ 運営の難しさ、司書でなくコーディネーター</li> </ul>
<p><b>【ウェルカムな雰囲気づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居心地のよい場所</li> <li>・ ぽっと来ても場に入れる</li> <li>・ 目的なくても立ち寄る</li> </ul>	<p><b>【ウェルカムな雰囲気づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木のぬくもり</li> <li>・ 軽い飲食可</li> <li>・ 人も場所も暖かい雰囲気(アットホームな雰囲気)</li> <li>・ カフェ</li> </ul> <p>※雰囲気づくり・環境づくりには武蔵野市に関係あるものを使う(武蔵野の水、友好都市の木とか・・・)</p>

5班 蓬田荘一郎、坂本聡、清本和子、高橋陽子

タイトル:ペタペタ掲示板&語り部

プレイスで何ができるか？	そのためにどうしたらよいか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 異年代間交流</li> <li>■ 定期的に覗いてみたくなる仕組みづくり</li> <li>■ 双方向性の情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 繋げる人(コーディネーター)・語り部(経験知識の豊富な人)が必要</li> <li>○ 大まかなルールをつくっておいて自由に貼れる掲示板を設ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域限定のそこでしか得られない情報をいつも掲示板に貼っておく。 【お得情報】(インターンシップ情報、バイト情報、格安中古パソコン販売,美味しいものやそこでしか買えないものを売っているお店、など) 【人の情報】碁・将棋、折り紙等何かを教えられる人、人生経験を語れる人</li> <li>■ 本の感想や意見などを貼れる掲示板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の掲示板と感想や意見を貼れる掲示板を色分けしておく</li> </ul>

6班 長田秀一、佐藤祐子、高橋繁夫、安藤栄美、庄司俊

<p>どんなことができるか どんなことをしたらよいか</p>	<p>そのためにどうしたらよいか どうできるか</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世代間交流</li> <li>・ 団体間交流で知り合える</li> <li>・ 出会いの機会をつくる</li> <li>・ 仲間づくり</li> <li>・ 体験する！ 特に子どもたちにも体験させてあげたい</li> <li>・ 知識を知恵に変える</li> <li>・ それぞれで固まらないように</li> <li>・ なんとなく来た人も知り合える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンシェルジュ（ソムリエ） プレイスソムリエを育成する</li> <li>・ 青少年によるパソコン教室</li> <li>・ 高齢者と子どもの交流促進 コミセンより一歩踏み出す</li> <li>・ それぞれの団体の活動フィールドも知らせたい</li> <li>・ しかけづくり</li> <li>・ 結びつける人が必要</li> <li>・ お当番を表示する</li> <li>・ ミーティングで団体名を表示しておく</li> <li>・ 武蔵野市のみならず、門戸を開いておいて欲しい</li> <li>・ 何のための交流？ <u>人から学ぶ(知識)</u>を得る</li> <li>・ これが生涯学習だ！</li> <li>・ 必ず名刺交換</li> <li>・ 必ず声をかけよう</li> <li>・ くつろげるふんいき</li> <li>・ あとから声がかけられるように</li> </ul>

## 第5回・6回ワークショップ「設備・備品」

第5回日時:平成22年5月20日(木) 18時半～20時半

第6回日時:平成22年6月17日(木) 18時半～20時半

場所:いずれも武蔵野スイングビル 10F スカイルーム

いままでのワークショップの議論を踏まえ、市民がこのフロアを拠点として、活動するために必要な「設備・備品」は何かという視点から具体的な検討に入りました。

第5回ワークショップでは、市民活動フロアの目的や機能を再確認しつつ、そこでどんなことをしたいのか、用途や理由を記入しながら、備品を挙げていくグループワークを行いました。活動の発信や受信に必要な印刷機やパソコンなどの情報機器から、交流や居場所につながる掲示板やお茶が飲める電気ポットなどの什器まで、多様な活動を考えた備品があがりました。(P26-31 参照)

第6回ワークショップは、前回の意見や市民活動団体へのアンケート結果をふまえ、事務局と実行準備会が備品検討の論点を整理し、それをもとに3つのグループワークを行いました。

P32 の表1のように、「プリント工房に必要な機材」では、必要度を段階に分け購入リストの機材をランクづけしました。価格はもちろん費用対効果を考えたり、近隣の商店街や施設などへの配慮を話し合った結果が反映されています。

P33 の表2のように、「打ち合わせの空間づくり」では3つの配置案をもとに検討しましたが、ゆったりした空間のイメージでテーブルは配置が変更できる案で一致しました。

P34 の表3のように、「打ち合わせスペース2の活用」では、必要と思われる備品に順位をつける試みをしました。スペースに限りがあることから、武蔵野プレイスの図書館フロアとの連携に配慮した優先順となりました。

(蓬田恭子)



	2	21	3	4	5	
1 コピー機(カラー 白黒)	A	A	A	A	A	A
2 コピー機(白黒)	C	C	C	C	C	C
3 印刷機	A	B	A	A	A	
4 高速インクジェットプリンター	B	C	C	C	C	C
5 裁断機	A	A	A	A	A	A
6 執打機	A	A	A	A	A	A
7 パソコン	A	A	A	A	A	A
8 製本機	B	B	B	B	B	B
9 スキーター	C	C	C	C	C	C
10 下台機	C	C	C	C	C	C
11 ホスター印刷機	C	C	B	B	B	B
12 フルカラー	C	C	C	C	C	C
13 台車	A		A	A	A	A

1班 木村孝、高石好子、蓬田恭子、栗原毅、庄司俊

活動・取り組み どんなことがしたいか	そのために必要な備品
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便物を受け取りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メールボックス(気付)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を得て、例えば本・資料を受け取る</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使用するの会議</li> <li>障がい者も利用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶を飲みながらの会議</li> <li>乳児のミルクづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理室</li> <li>給湯設備、流し、ポット、カップ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>看板をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷機、プリンター</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書をつくりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製本機、台車</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者とも話しをしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集音機</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>他のフロアで行われていることの紹介</li> <li>市民団体の情報を入手したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示板、ボード、電光掲示板</li> <li>メッセージボード、人材</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>友好都市と交流したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロアのイスかカウンターを、友好都市の木材で用意する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動に関わる情報のライブラリー</li> <li>地域情報欲しい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な形式の話し合い(会議)に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーティションでフレキシブルな空間をつくる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>会議の記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音設備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を映像で伝えたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録画設備 --- プロジェクタ、スクリーン テレビ、デジタルカメラ ビデオ、DVD 再生機器</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと一緒に話し合い、会議をしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たたみスペース(収納して必要なとき利用)</li> <li>落書きボード</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動紹介(ものづくり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ショーケース、販売スペース</li> </ul>

2班 蟹澤茉莉子、野坂利子、栗田充治、木下千恵子、多田てい子

活動・取り組み どんなことがしたいか	そのために必要な備品
・古い資料を視聴する	・旧型のビデオ・カセットデッキ ・アナログ→デジタルの編集機
・湯沸かしやパソコンの電源に	・コンセントたくさん
・会議をするとのどが渇くので ・打ち合わせや面談のため ・安いお茶用の自販機 ・場がなごむ	・お茶セット(急須・湯のみ) ・お茶コーナーあるいはお茶ワゴン
・チラシ・ポスター作成 ・団体の説明会や活動紹介の面談などで使用したい ・団体のHPを見ながらの打ち合わせやのWEB上の情報を使いながら・ ・情報の発信 団体の情報を知りたい ・団体の発信物を網羅的に集める ・市内の団体情報発信の拠点になる	・パソコン ・インターネット接続設備 ・情報がほしいけれど・・初心者のため、ツイッター型掲示板 ・DVD やビデオを流せる機械 ・掲示板をたくさん(壁一杯) ・(備品で)団体ごとのファイル ・ チラシラック
・表現力豊かな印刷物を作りたい ・情報発信作業をやりやすくする	・フルカラーの印刷機 ・裁断機 ・二つ折り印刷機・コピー機 ・大型サイズ可のコピー機 ・スキャナー(PC)への資料保存
・大量の手紙送付のため	・折機+封筒に印刷できるもの
・安心して打ち合わせできる	・女子トイレに子ども(男子)の小便器
・打ち合わせコーナーとして使う ・その場の状況でレイアウトを変える	・フリースペースのイスと机は軽いもの ・パーテーション ・人数に応じ増やせる机といす
・ポスター作りなどをするとき、持ってくるのを忘れたときに取りに戻らなくても借りることができたら助かる	・文具(借りる)ノリやペンなど ・レンタル文具(ノリやハサミをセットにしたもの)
・当日の催し物・イベントの案内をする ・1F ギャラリーの案内をする	・目立つ看板あるいはつり看板
・ボランティア募集イベント情報の情報発信をしたい ・日時を決めてボランティア募集の受付をする	・求人ポスターを見られる掲示板・・画鋸で貼る ・募集コーナー
・図書館との連携	・図書館情報
・市民活動について学ぶ ・調べたいときは本屋に行くが買えない。参考書籍があると大変助かる	・NPO・市民活動関連の書籍・雑誌 ・NPO 運営(会計など)に関する書籍
・情報の発信・啓発	・いつでも相談に乗ってくれる人がいる ・個人の活動を団体活動へ発展させる

3班 吉永光太郎、田幸瑠璃、高橋勇、天野日佐恵

活動・取り組み どんなことがしたいか	そのために必要な備品
<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせ中、声が広がらないため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーテーション</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせをする際に必要だから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボード</li> <li>ホワイトボードのマーカー</li> <li>ホワイトボードの文字を消すもの</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルのため、打ち合わせで必要なくなった紙を置いておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ボックス(まだ裏が使える紙を集める)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を確認するため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きめな時計(音のなるもの)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>座りたいから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰にでも見えるように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めがね(虫眼鏡?)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせをする際、ゴミは出してしまうと思うから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ箱</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料があるので、誰もが見やすく見られるので</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示パネル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>団体が打ち合わせするスペースだけでなく、語りた、しゃべりたい人だけの机</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸い机</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な市民活動をしている方の体験談、またこの市民活動フロアを通じて、活動を始めた人の意見、感想を聞きたいから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが書けるノート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報をまとめる人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーター(人)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動紹介</li> <li>団体などの情報の保存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>でっかいファイル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の情報を入れるため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPhone</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー、講座などで利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクター</li> <li>ケーブルテレビ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ケータイ、パソコンなどをつなぐため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンセント</li> </ul>

4班 石井雄三、蓬田荘一郎、清本和子、今村幸雄

活動・取り組み どんなことがしたいか	そのために必要な備品
・ 音楽教養講座が開けたらいいな	・ 防音設備がついた部屋
・ 絵画の発表会	・ ギャラリーにもなる設備
・ 人と人との仲良くなるために	・ お茶が飲める設備
・ 聴覚障害のある子どもに絵本の読み聞かせをしたい	・ くつろげるソファのある部屋
・ 若い人、子どもをひきつける魅力	・ 情報発信のための掲示板
・ 人材登録と活動の場の提供	・ 例えば昔の話、自分の歩んだ道を話すための場
・ 団体活動の備品を置いておく	・ ロッカー
・ 自分の好きな情報を手に入れたい	・ チラシを自由に持ち帰れるような掲示の仕方
・ 相談しやすい気分させる	・ 相談しやすい机や椅子
・ プライベートな相談も出来るため	・ パーテーション
・ 団体活動を紹介する	・ 団体紹介掲示板
・ 地域のスポーツ団体の指導者、コーチのボランティアの情報を入手できる	・ 情報が得られる掲示板
・ 自分の興味ある活動や活動団体を知ることができる	・ 活動の内容ごと(スポーツ、ボランティア)に分けたファイル(自由に見られる)
・ 会議や相談に必要	・ ホワイトボード
・ 団体同士の連絡手段	・ 電話
・ 話し合いや会議室で出た意見をすぐ出力できるように	・ PC(ノート)から印刷できるプリンター
・ 団体活動のためにはカラー印刷が必要	・ 印刷機(カラー)
・ 読書カードや本の紹介など	・ 本や読書カードが設置できるヒナ段(机)
・ 活動の宣伝のためのポスターが印刷できる	・ 大判プリンター
・ 製本が出来る ・ 団体活動誌作成のため	・ 製本機、電動ホチキス

5班 畑中良夫、佐藤祐子、西園寺美希子、坂本聡、大橋大輔

活動、取り組み	そのために必要な備品
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の発信、受信</li> <li>・ 他の団体も知りたい</li> <li>・ くつろぎコーナー</li> <li>・ 思いついたことをすぐ発信したい</li> <li>・ ワンストップのアドバイス</li>   <li>・ 打ち合わせ、相談に必要</li> <li>・ PowerPointなどで作ったスライドを持ち込んで見てもらう</li>   <li>・ 活動しやすさ、若い世代を取り込む</li> <li>・ 子どもコーナーの必要性</li>   <li>・ 掲示板、チラシをカテゴリー分け</li> <li>・ 国際交流を1つの柱にする</li> <li>・ 武蔵境地域のまちづくり、活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスター展示パネル、チラシ台、ファイル棚、PC、プリンター</li> <li>・ 団体の案内ファイル</li> <li>・ ソファ</li> <li>・ 自由記入の電子ホワイトボード(書いたものをプリントアウトできるもの)</li> <li>・ カウンター</li> <li>・ 店員のように様子をみて声をかけていく</li>   <li>・ 一体感をつくる手作り家具</li> <li>・ ぬくもりを感じられる</li> <li>・ 組み換え自由な手作り家具</li>   <li>・ 白板、スクリーン</li> <li>・ テーブル(カウンター?)の中に間伐材利用のものを</li> <li>・ ラップトップコンピューター</li> <li>・ テーブル(カテゴリー別に)</li>   <li>・ 置型たたみ少し</li> <li>・ ベビーチェア少し</li> <li>・ かんたんなおもちゃ</li> <li>・ コンセントは床でなく天井から?</li> <li>・ パーテーション→内緒話に必要な、掲示板としても使う</li>   <li>・ 学生コーナー、国際交流コーナー、武蔵境コーナー、近隣市コーナー、お父さんコーナー、市報・議会コーナー</li> <li>・ 大型テレビとモニター</li> <li>・ コートかけ(冬には絶対に必要)、傘立て</li> <li>・ 子育てコーナー</li> <li>・ 助け合いコーナー(防災、介護など)</li> <li>・ 全館利用状況の掲示板など(へーあのグループはこんなことやってるのね)</li> <li>・ 市民への手紙の掲示板(私はこう思うけど、みんなはどうなんだろう?)</li> <li>・ この指止まれの掲示板</li>   <li>・ 電気ポットとインスタント飲料→セルフサービスのお茶が飲める</li>   <li>・ 大判プリンター(ポスター、模造紙が出力できる)</li> <li>・ プリンター、印刷機</li> </ul>

6班 江森寿美子、金井芳子、三田善雄、白相恵子、吉野守

活動・取り組み どんなことがしたいか	そのために必要な備品
交流（打合せコーナー） ⇒	すぐ湧くポット、お茶セット、イス 机（人数により色々なレイアウトにできる）
打合せ ⇒	文房具、ロッカー、紙、PC、プリンター(カラー)
人材バンク ⇒	パネル、掲示板
市民活動を始める、取り組み(サポート) ⇒	メールボックス(住所・私書箱として)
活動紹介 ⇒	スクリーン、プロジェクター
その他 ⇒	コンセント

第6回ワークショップ グループワークのまとめ

グループワーク「市民活動フロアに設置すべき備品」

① プリント工房に設置する備品

表1：各グループ及びワークショップ全体の検討結果

備品	各グループの検討結果					ワークショップ 全体の結論
	1	2	3	4	5	
コピー機（カラー）	A	A	A	A	A	A
コピー機（モノクロ）	C	C	C	C	C	C
印刷機	A	B	A?	A	A	A
高速インクジェットカラープリンター	B	C	C	C	C	C
裁断機 （手動・電動タイプあり）	A	A 電動	A?	A	A	A
紙折り機	A	A	A	A	A	A
パソコン（主に印刷用）	A	A	A	専用C 流用B	A	A
製本機（カバータイプ、糊付けタイプ）	B	B カバー タイプ	B	C 要望が 出たら	B	B
スキャナー	C	C	C	B	C	C
丁合機	C	C	C	B	C	C
ポスター印刷機	C	C	B? C?	B	B	B? C?
プリンター	C	C	C	C	C	C
台車	A	A			A	A

※備考：A＝必須である、B＝スペース等に余裕があれば導入しても良い、C＝導入すべきでない

② 打ち合わせスペース1の空間づくり  
＜打ち合わせスペース1のテーブル配置案＞

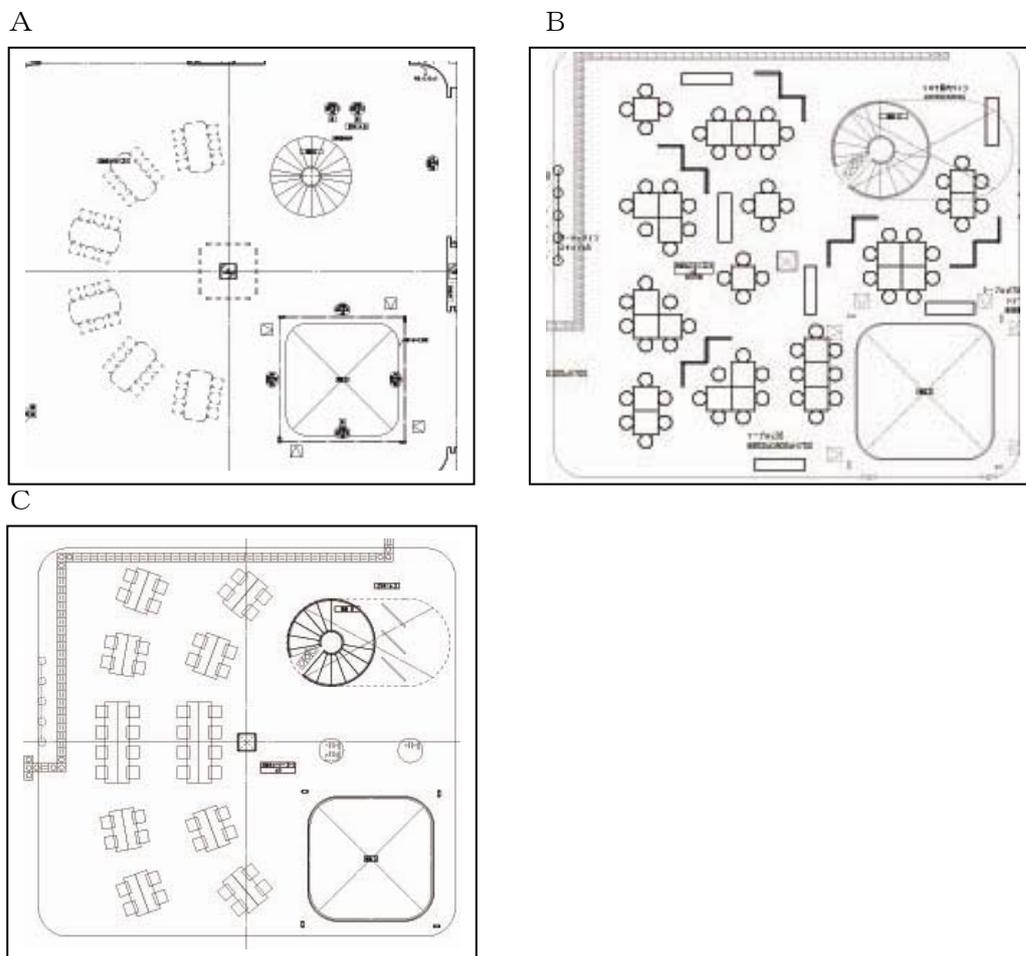


表2：各グループ及びワークショップ全体の検討結果

テーブル 配置案	各グループの検討結果					ワークショップ 全体の結論
	1	2	3	4	5	
A						
B	○	○	○		○	○
C				○		

③ 打ち合わせスペース2の機能優先度

表3：各グループの検討結果

設備備品	用途	各グループで検討した優先順位				
		1	2	3	4	5
団体ファイル	活動内容・分野ごとに、団体のファイルを設置し、自由に閲覧できるようにする。	2位	4位	1位	2位	3位
書籍用書棚(3F)	NPO 設立、会計、広報などに関する書籍や、市民活動の情報誌などを設置する。なお、プレイスの図書館部分にも、市民活動関連書籍コーナーが出来る。	5位	5位	5位	4位	3位
チラシラック	NPO から寄せられたチラシ、ニューズレターなどを設置し、自由に配布。	1位	3位	1位	1位	1位
ロッカー	団体の物品を保管する。(例：印刷用紙など)	4位	2位	2位	5位	5位
メールボックス	団体のメンバー間の連絡に活用。郵便物の受け取り、私書箱機能も検討。	3位	1位	2位	3位	3位

## 第7回ワークショップ「ルールは必要か？」

日時：平成22年7月15日（木）18時半～20時半 場所：武蔵野スイングビル 10F スカイルーム

第7回ワークショップでは、前半は4つのグループに分かれて、標記のテーマについて議論を行いました。様々な意見が出されましたが、大きく分けると次の2つになると考えられます。

- ① 市民活動をする場であることを共通認識として、「緩やかな、必要最小限のルール」があればよい。
- ② 実際に動き出した時に、参加者の話し合いによってルールを変えられることを決めておく。

つまり、「最低限、人に迷惑をかけない。」「みんなで気持ちよく使う場所だ。」という市民的共通認識の上に立って「ルールは必要だが、最小限にして、みんなの合意で変えられるものにしよう。」ということが大方の合意だったのではないかと考えます。

後半は、個人の意見とは関係なく「ルールが必要」という立場と「必要でない」という立場に立って、ディベートという形で議論を深めることが提案されましたが、初めての体験で、参加者にやや戸惑いもあり、時間が短かったこともあって、議論を煮詰めて結論を出すまでには到りませんでした。

同じテーマで議論の深化を図った第9回ワークショップ（9月22日18時半～）のグループワークの場で「ルールは必要か？」のテーブルに集まってこられた方々のほとんどが、「ルールは必要」という意見の持ち主だったように思われます。つまり、実際の運営に支障をきたさないためには「最低限これだけは守ってもらうことが必要」という幾つかの項目があること。例えば、施設の長時間独占利用や給湯室等施設の目的外使用の禁止等があげられました。解決策として、「利用者登録をする」また、「窓口の人員配置を多くする」ことなどがあげられました。（清本和子）



第7回ワークショップ「利用ルール」グループワークのまとめ

グループワーク①「市民活動フロアにルールは必要か？」

【グループ1】

◆ ルールは必要か？

- ・ 周りに迷惑がかからない程度でルールは必要。

◆ どのようなルールが必要か？

- ・ 来たときよりもきれいにして帰って、皆が気持ちよく使えるように、ごみは持ち帰りにすること。
- ・ お弁当やお茶、お菓子などは、話し合いを円滑にするためには必要なもので、禁止しない。
- ・ 多くの人が使えるようにするため、時間の制限や予約制の導入などを検討する。予約は、受付カウンターを必ず通るようにする。
- ・ タバコはだめ。

【グループ2】

◆ ルールは必要か？

- ・ ここは市民活動をするところであるということを共通認識とし、それに応じたルールがあればよい。
- ・ 原則的にルールは最小限にし、あとは利用実態を見ながら臨機応変に対応すれば良い。例えば、勉強をしている人がいても、単なる勉強なのか市民活動の一環なのかは、区別が難しい。利用実態を見ながら柔軟に考えれば良い。

◆ どのようなルールが必要か？

- ・ 飲食についてのルール  
「食事目的の利用」はこの場所には相応しくないが、活動をする中で発生する食事は、あっても良い。また、市民活動フロアだけで完結させる必要はなく、プレイスの1階のカフェの存在も視野に入れながら、ルールを考えればよい。例えば、グループ活動の最中にカフェで食事をするようになったが、仲間の一人が弁当を持参しているような場合、一緒にカフェで弁当を食べられるような配慮があると良い。

【グループ3】

◆ ルールは必要か？

- ・ 必要だが、ルールは少ない方がよい。
- ・ ルールを作るとしても、「～してはいけない（禁止、ネガティブ）」ではなく、ポジティブなものであるべき。
- ・ 何か課題があったら、運営委員会や利用者の協議会などで話し合い、柔軟にルールの修正等が出来ることが望ましい。このような意思決定の仕組みを設けることをルールとすべき。

◆ どのようなルールが必要か？

- ・暴力団・宗教などの団体の利用の禁止。営利行為、募金・署名、破壊など不法行為の禁止。

【グループ4】

◆ ルールは必要か？

- ・ ルールがないと、利用者が偏るおそれがあるので、ルールは必要。
- ・ ルールがないと、自分勝手に、他の利用者に迷惑な使い方をされる恐れがあるため、ルールは必要。
- ・ 使い方の制限や、使う人の制限はしない。

◆ どのようなルールが必要か？

- ・ 混雑時に利用時間の制限を設けること。
- ・ 飲み物、お菓子、お弁当の類の飲食は可とする。宴会利用は不可とする。
- ・ 基本的常識を守ること。(人の迷惑になることは避ける)

グループワーク②

「市民活動フロアにルールは必要である（ディベート的手法を用いたグループワーク）」

◆ ルールがあった方が良いとする立場＝制限を設けることに肯定的な立場

【グループ1】

ルールの例	ルールがあったほうが良い理由
利用を武蔵野市民に限定する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民同士が仲良くなれる。</li> <li>・ 市民にとって使いやすい場所になる。</li> <li>・ 税金が市民のために使われる。</li> </ul>
飲食を禁止する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部屋が汚れない。</li> <li>・ ゴミが出ない。</li> <li>・ プレイス周辺の商店街の飲食店が儲かる。</li> </ul>
利用時間に制限を設ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所取りの必要がなくなる。</li> <li>・ 利用者間のトラブルが防げる。</li> </ul>
アルコール、危険物の持ち込みを禁止する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酔っ払いにからまれる恐れが無くなる。</li> <li>・ 利用者の安全が守られる。</li> </ul>

【グループ2】

ルールの例	ルールがあったほうが良い理由
「市民活動」を目的とした利用に限定する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動の場が確保される。</li> </ul>
武蔵野市民を優先する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武蔵野市民の利益につながる。</li> </ul>

※ある程度のルールがあった方が良い。理由の一つは、運営する側がやりやすいであろうということ、もう一つは、市民が自分たちでルールを検討・見直していく過程で力をつけていくことが期待できるという利点があることがあげられる。

◆ルールは無い方が良いとする立場＝制限を設けることに否定的な立場

【グループ3】

ルールの例	ルールが無い方が良い理由
制限を設ける	・ 制限を設けることで、来なくなる人が出る。
利用を武蔵野市民に限定する	・ 誰が武蔵野市民なのか、外見で判断できない。 ・ 「人」の制限は人権侵害。個人の人格に関わるような制限をすべきではない。ただし、利用の目的に関しての制限ならばあっても良い。
「市民活動」を目的とした利用に限定する	・ 市民活動の多様性を制限することにつながる。

【グループ4】

ルールの例	ルールが無い方が良い理由
利用を武蔵野市民に限定する	・ 武蔵野市内で市民活動をするのは、必ずしも武蔵野市民に限らない。 ・ フロアの目的は、広く他地域の市民活動を紹介したり、学んだりすること。
「市民活動」を目的とした利用に限定する	・ 高校生、大学生が勉強目的でフロアを利用しながら、市民活動の現場に身近に触れ、市民活動について学ぶきっかけになることが期待できる。
団体での利用を原則とする	・ 1人で来る人も、将来団体での活動に発展する可能性があり、また活動の場を求めて1人で来る人もいる。

## 第 8～10 回ワークショップ「運営委員会の役割」「市民活動フロア キャッチフレーズ」

第 8 回日時：平成 22 年 8 月 19 日(水)18 時半～20 時半

第 9 回日時：平成 22 年 9 月 22 日(水)18 時半～20 時半

第 10 回日時：平成 22 年 10 月 5 日(火)18 時半～20 時半

場所：いずれも武蔵野スイングビル 10F スカイルーム

ワークショップでの検討事項は、第 8 回ワークショップで終了し、第 9 回と第 10 回ワークショップは、過去の振り返りや感想になりますので、この章は 3 回分をまとめた前文とします。

まず、第 8 回ワークショップでは、前半の部で「市民活動フロア運営委員会」の役割とその理念について説明があり、それを基にワークショップで意見交換を行いました。また、引き続き第 9 回ワークショップでも、より詳細に運営委員会のあり方について議論しました。

武蔵野プレイスでは、全館の運営に関する「プレイス運営サポート会議」を始め、「青少年フロア運営委員会」「市民活動フロア運営委員会」という運営に関する 3 つの委員会が設置される予定です。

第 8 回では、「市民活動フロア運営委員会」で一番大事なことは、利用者の声が運営に反映されることであると言う結論に達し、運営委員会と共に「利用者懇談会」を設けることが確認されました。また、第 9 回のワークショップでは、運営委員会の規模は 20～30 人、行事や目的に合わせて部会を作って運営してはどうか、運営委員のメンバーはワークショップ参加者から選出するべき等、委員会組織や運営方法について意見が出されました。

第 8 回の後半部分は、市民活動フロアのキャッチフレーズを、各グループに分かれて考えました。第 9 回ワークショップでは、候補の中から絞り込みを行い、更に第 10 回では、その中から参加者全員で投票を実施し、ベストのキャッチフレーズを選出しました。

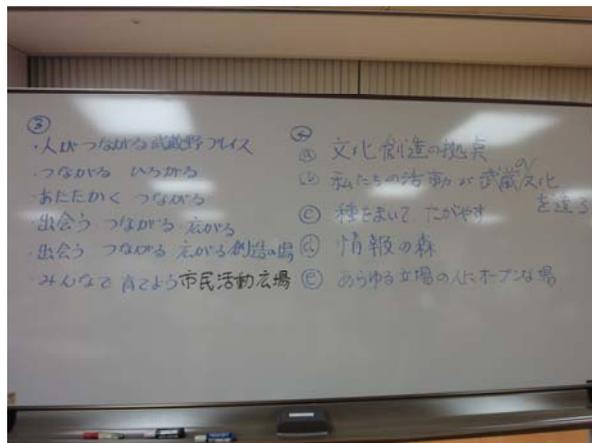
投票結果は以下の通りです。

1 位： 人がつながる武蔵野プレイス

2 位： あるかも発見、あるかも出会い

なお、第 9 回ワークショップでは、ここに記した運営委員会だけではなく、ワークショップ各回で議論したテーマについて、再度話し合いを行いました。

また、第 10 回ワークショップでは、報告書詳細の詰りや、今までのワークショップを振り返り、有志が感想を述べました。(今村幸雄)



第8～10回ワークショップのまとめ

「ワークショップからのメッセージ～キャッチフレーズづくり～」

第8回ワークショップのグループワークを通じて、以下の表のようなキャッチフレーズの候補がだされました。

その後、第9回ワークショップにおいて、ワークショップからのメッセージを体系的に表現したキャッチフレーズとして相応しいと思われるものを参加者からの挙手により（1人2票）、絞込みを行い、4票以上を獲得した5案について、第10回ワークショップで投票を行いました。

【グループ1】

キャッチフレーズに込めた思いなど	キャッチフレーズ案	票数
プレイスに求めることは、何かを発見できるということ、出会いがあるということ。それをキャッチフレーズ風にまとめた。	・ あるかも発見、あるかも出会い	4
	・ 見つけることと出会うこと	0
まずプレイスに「行く」。行った以上は何か「参加する」。そのことを通じて、自分は何者か、ということを知ると共にそこで新しい何かを「発見する」。こうしたプレイスでの一連のプロセスを表現した。	・ 行きます、参加します、発見します	3
キーワードは「発見」。新しいことを知る、そこからいろいろなことがイメージされ、新しい出会いにつながっていくということをまとめた。	・ みんなこいこい 武蔵野プレイス	1

【グループ2】

キャッチフレーズに込めた思いなど	キャッチフレーズ案	票数
図書館機能、市民活動機能、生涯学習機能のダイナミックなつながりあい考えた。	・ 市民活動と学びの融合	0
武蔵野プレイスの市民活動フロアは「居場所」として交流を紡ぎ出し、そこからさまざまな活動がらせんを描くように発展していくイメージ。その過程では市民活動だけでなく、図書館や青少年機能などと情報がやり取りされるはずで、その様子を案のように表現した。	・ 情報キャッチボール	2
市民同士、子ども、青少年を意識して考えた。	・ 市民活動 ひらく・見せる・むすぶ	3

【グループ 3】

キャッチフレーズに込めた思いなど	キャッチフレーズ案	票数
はじめに出てきたキーワードは「つながる」。そこから膨らませていくと、単に「つながる」ということだけでなく、「あたたかく」つながることの大切さや、フロア全体や、フロアを越えたつながりに「広がる」、そんな場であって欲しいとの思いを込めた。	・ つながる 広がる	1
	・ 出会う つながる 広がる	5
	・ 出会う つながる 広がる創造の場 武蔵野プレイス	7
	・ あたたかくつながる	0
	・ 人がつながる武蔵野プレイス	5
上をまとめる形で、「みんなでこの場を育てていく」という思いを込めた。	・ みんなで育てよう 市民活動ひろば	4

【グループ 4】

キャッチフレーズに込めた思いなど	キャッチフレーズ案	票数
武蔵野市では、他に先駆けて、自治の文化がつくられるなど、市民の文化が根づいてきた。もう一度、市民が文化をつくっていく拠点にしたい、という思いを込めた。	・ 文化創造の拠点	2
	・ 私たちの活動が 武蔵野の文化を創る	3
1人1人が活動の種を蒔き、活動を動を広げる。また、お互いにたがやし合いながら、そこから更に新しい武蔵野独自の文化をつくっていくような場であって欲しいという思いを込めた。	・ 種をまいて、たがやす	1
	・ 情報の森	3
	・ あらゆる立場にオープンな場所	0

第 10 回ワークショップにおける投票結果

キャッチフレーズ案	票数
・ あるかも発見 あるかも出会い	8
・ 出会う つながる 広がる	1
・ 出会う つながる 広がる 創造の場 武蔵野プレイス	6
・ 人がつながる武蔵野プレイス	12
・ みんなで育てよう 市民活動ひろば	0

日時:平成 22 年 10 月 12 日(火)18 時 50 分~20 時 50 分 場所:かたらいの道市民スペース

出席者 <市民ワークショップ実行準備会> 天野日佐恵、今村幸雄、木崎剛、木下千恵子、栗田充治、酒井陽子、佐藤祐子、高石好子、畑中良夫、蓬田恭子

※文書参加 清本和子、多田てい子、石井雄三

<武蔵野プレイス開設準備室> 向田恒彦、日比野勲、石村美枝

<アドバイザー> 高山 和久(東京ボランティア・市民活動センター)

進行役:高石・畑中 記録:佐藤

高石: 皆さん、1 年間お疲れ様でした。

昨年の 10 月 29 日(木)第 1 回ワークショップが始まり、3ヶ所の施設見学、10 回のワークショップがあり、約 1 年が経とうとしています。今日は、実行準備会の皆様方にワークショップと実行準備会を振り返り、今までのこと、これからのプレイスに望むこと、プレイスでやりたいことなどをお話していただきたいと思います。



天野: ワークショップに参加して、様々な活動をしている団体や市民活動をしている人たちと出会えたことに感謝しています。今後、プレイスの市民活動フロアに望むことは、色々な市民がいる中で、どれだけの活動の支援ができるか、排除せず、市民と運営側が考えを出し合いながら市民活動を推進して欲しいということです。

栗田:「市民が創造していくフロア」こんなワークショップができたことがうれしかった。今後展開していく上で、市民活動の多様性を尊重する姿勢が必要であり、市民活動は枠をかためず、おおらかな運営ができるとよいと思います。

木下: はじめプレイスは、図書館を中心とする施設かと思っていましたが、大人と子どもの交流のできる可能性の追求が可能な場所であることを知り、子どもから高齢者まで市民活動の夢の場に育てたいと思います。



蓬田: 自分たちのような法人格のない小さな NPO の活動拠点となるスペースを期待して参加しました。障害のある仲間と一緒に活動したいので、設備や備品などに先端テクノロジーの導入は検討してほしい。フロアが市民活動のいわゆる<sup>けつえん</sup>結縁の場に育っていくといいですね。

木崎: ワークショップでは、同じ目線での話はすばらしく、上から決まってしまうものではなく、市民活動フロアの運営の核となるようなものができてよかったと思います。貴重な体験で財産となりました。使う側がルールを持ち、協力してやっていく、知る、知らせる場であつたらよいと思います。

今村: 最初は手探り状態で出発したワークショップでしたが、実行準備会が下準備するようになり、徐々に市民、行政が一体となって、有意義な話し合いが出来たと思います。今後、運営に当たっては、運営委員会の役割が重要になってくると考えています。

酒井: 武蔵野プレイス建設に反対している地域住民や建設費と維持費のことを忘れてはいけないと思います。知的創造という、誰もが平等に持つことが出来る無形の財産を得られる拠点として、自慢できる場にしたいですね。

佐藤:若い時は余裕もなく我が家のことしか考えられませんでした、孫まで持つようになると地域全体の環境の大切さを認識できるようになりました。子どもたちを上手く育てるには地域に「知」が必要だといわれているので市民のためにしっかり運営していったほしいと思います。



畑中:大事なことは、プレイスができてからの運営と利用者の利用方法だと思います。施設は100年以上利用できるはずですので、とき折々に問題を解決しながら育てていくという心構えが大切だと思います。

高石:実行準備会を通じて大勢の方々と出会い、色々な方々と討論して、プレイスに対する考え方の幅が広がりました。今後、まだまだ沢山の課題が出てくると思いますが、運営委員会において、その都度解決をしていきましょう。

日比野:試行錯誤の連続でした。皆の声を響かせていけるような場づくりを心がけていました。二転三転し、なかなか進まないこともありましたが、市民活動とは時間をかけてこそ、というものなのだろうと思います。私自身もワークショップに育てていただきました。

石村:1つ目には、ワークショップに毎回30人が自主的に集まったことに驚き、2つ目には自ら思いを持ち活動している色々な方面の方々が集まったことに驚きました。そして、結論がすぐには出なくても参加者一人一人の体験・知識・思いのこもった話が聞けること、その場で発言すること、また、互いに話し合うことそのものが大切なことだと感じました。

向田:毎回、夜遅くまで話し合いをする参加者の皆さんの姿に、大変な熱意を感じました。この熱意を受けて、施設開設に向けた準備をしっかりやっていきたいと思っています。

高山:プレイスの運営には、横軸として「スタッフの熱意(目の前のことを一生懸命やるひと)」、縦軸として「あるべき姿を言い続ける人(長い目で見る)」の両方が必要です。

運営に携わる人の中には、戦略的に若い人に参加してもらえればよいと思います。また、地域のことや、今まで関心のなかった人や出てこれない人を入れていくにはどうしたらよいか課題です。

まだまだこの後もプレイスに対する熱き思いの話が出ましたが、残念ですが紙面の都合で割愛させていただきました。

#### 文書参加者の声

清本:これまであまり知り合うチャンスがなかった方々と触れ合うことが出来てよかったと思います。とても楽しかったです。今後も市民と行政職員とがいつでも対等な立場で話し合える「開かれた武蔵野市」であってほしいと願っています。

多田:実行準備会にも参加させていただき、毎回、皆さんの前向きな発言と行動力に感心させられました。人の話も聞き、忙しくても率先して課題を引き受ける人の集団でした。これからは、ワークショップでの話し合いが活かされ、人がどんどん繋がっていける場所になることを願っています。

石井:プレイスの成功の可否は、その運営にかかっています。したがって、優秀な運営委員あるいはプロデューサー(なるべく少数)を選定することが重要です。その下部組織として、多方面からの人材で構成される利用者懇談会をつくる必要があります。もっと一般市民(老若男女)に対するPRが必要です。

参加者名簿

(敬称略、50 音順)

※この名簿には、全 10 回のワークショップに 1 回以上参加された方のうち、氏名掲載を承諾された方について掲載してあります。

秋本 康代	木崎 剛	田中 純江
秋山 優子	木下 千恵子	田中 雅文
阿部 昌子	木村 孝	田中 由佳
天野 日佐恵	清本 和子	田村 晃一
鮎川 武二	栗田 充治	千種 豊
安藤 栄美	栗原 毅	長田 秀一
池上 栄	小林 町子	中村 靖子
石井 雄三	近藤 和子	西村 まり
石山 毅	西園寺 美希子	野坂 利子
磯部 昌子	酒井 陽子	畑中 良夫
糸井 守	佐藤 祐子	樋口 俊一
今村 幸雄	嶋 恭之	松井 隆雄
岩崎 みどり	関 秀明	三田 善雄
江森 寿美子	高石 好子	村上 京子
大橋 三苗	高橋 繁夫	村田 敦史
大谷 壽子	高橋 俊	山口 雅也
小川 恵美	竹田 キミエ	横山 勇
金井 芳子	竹田 義一	吉永 光太郎
蟹澤 茉莉子	田幸 瑠璃	蓬田 恭子
河戸 道子	多田 てい子	蓬田 莊一郎
木川 憲子	立山 みどり	

他 26 名



市民ワークショップ実行準備会名簿

(敬称略、50音順)

氏名	所属団体
天野 日佐恵	ボランティアステーション
安藤 栄美	NPO 法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会
石井 雄三	
今村 幸雄	NPO法人FP武蔵野グループ
木崎 剛	NPO 法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会
木下 千恵子	境南コミュニティ協議会協議委員
清本 和子	NPO 法人市民まちづくり会議・むさしの
栗田 充治	NPO 法人武蔵野市NPO・市民活動ネットワーク
酒井 陽子	NPO 法人武蔵野市NPO・市民活動ネットワーク
佐藤 祐子	NPO 法人保育サービスひまわりママ
高石 好子	主任児童委員
多田 てい子	財団法人武蔵野健康開発事業団 健康づくり支援センター
田村 晃一	ボランティアセンター武蔵野
長田 秀一	亜細亜大学法学部教授
畑中 良夫	NPO法人FP武蔵野グループ
三田 善雄	公益財団法人武蔵野市国際交流協会
蓬田 恭子	むさしの未来まちづくりたい

アドバイザー

高山 和久	東京ボランティア・市民活動センター統括主任
-------	-----------------------

事務局

前田 洋一	武蔵野プレイス開設準備室長
早川 千秋	武蔵野プレイス開設準備室副参事
向田 恒彦	武蔵野プレイス開設準備室主査
石村 美枝	武蔵野プレイス開設準備室
日比野 勲	武蔵野プレイス開設準備室

武蔵野プレイス市民活動フロア 市民ワークショップ  
報告書

平成 22 年 11 月

発行: 武蔵野プレイス市民活動フロア 市民ワークショップ  
編集: 市民ワークショップ実行準備会